

特集2：岩村の空き家対策、始まっています！！

岩村町に点在する『空き家』。これからも増える一方と予想され、町の将来に大きな影響を与えようとしています。ホットいわむらでは、こうした空き家への対策を考えていきます。

※空き家とは・・・一定期間居住がなく放置状態の建物を指し、年2～3回、数日間の滞在のみ使用される場合なども含まれます。



①なぜ『空き家』が問題になるの？

空き家は個人所有の資産であり、その扱いは大変デリケートな問題を含んでいます。しかし、すでに全国でも約13%の家屋が空き家となり、15年後には24%、4軒に1軒にまで増加すると考えられています。

このまま空き家が増え放置が続くと、**倒壊の危険**や、**防犯防災の妨げ**となる他、町並みや農村風景の景観自体が観光資源でもある岩村にとっては、**景観悪化**によるマイナスイメージが伴います。

しかし、一番問題なのは、空き家の増加が**地域のつながりを分断し、自立的な町のパワーを奪ってしまう**恐れがあることです。これが空き家対策を町として取り組む必要があると考える理由です。



(写真はイメージです)

②昨年までの活動状況

昨年度の空き家対策事業として、各地区の自治会長さんの協力を得て、空き家と考えられる家屋の所在場所を明らかにし、その後ホットいわむらやろまいかチームによって外観調査を行いました。

その結果、**約20軒の不在家屋**を把握することができました。しかし、この数字は氷山の一角と断言していいほどのもので、まだまだ空き家は至るところで存在していると考えられます。



(7月18日勉強会の様子)

③今年度の活動計画

今年度は、空き家の問題解決に向けて私たちに何ができるのか、様々な方向から検討し、できるところから実施していきます。

ホットいわむらで空き家対策を担当しているのは、やろまいかチーム。主に伝建地区の改修設計やサポートを行うNPO法人いわむらでんでんけんのメンバーや、商店会・観光協会会員、岩村・富田それぞれで活動する恵那市ふるさと活性化協力隊員等、様々な分野の人材で構成されています。

やろまいかチームでは、他にホットいわむらPR、ホームページや広報での情報発信、上町まちなか交流館事業等を担当しています。

空き家対策では、さらに内外の識者や有志等とも連携し、オープンな取り組みをしていきます。

既に、空き家対策先進地である**広島県尾道市**への視察や、最新事例の情報共有を進める**勉強会**などを開催しました。

今後は、**情報収集・情報発信**の推進や、**空き家を使った交流事業、空き家見学会**の開催を計画しています。

④皆様のご協力をお願いします！！

町の皆さまにも、近隣の空き家情報や活動へのご意見などございましたら、是非お声をお寄せください。また空き家をお持ちで、今後の処遇にお悩みの方も一度お話を聞かせていただければと存じます。町の未来につながることを一緒に考えていきましょう！

【お問い合わせ】

城下町ホットいわむら

0573-43-2111 (岩村振興事務所内)

0573-32-1109 (上町まちなか交流館)

(e-mail) info@hot-iwamura.com

